
マサユメ

エビのしっぽ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マサユメ

【Nコード】

N9215A

【作者名】

エビのしっぽ

【あらすじ】

悪夢をみてしまった。もしこれが正夢ならば行かなければ。…あの場所へ…。

（前書き）

初投稿なので、うまくできたかとても不安です。読んでいただけたらうれしいです。

…ここはどこだろう。

俺は今、薄暗い闇の中にいる。

床はコンクリートらしく、固く、無機質な感じがする。

…どこかの鉄工所か何かだろうか。周りは見えないが、とても
広いことが肌でわかる。この場所は、何かおかしい。異

質な空気、胸を圧迫するような不快感。そして何より鼻を

つくこの異臭だ。魚かなにかの死骸の、さらに強烈になった感
じだ。…目が慣れてきた。

ほんの数メートル先に、大きな塊らしき物が見える。

よく目を懲らす。

それは……

手足のない、人間の肉体だった。

感じたことの無い恐怖が体を貫く。

その時、後ろから視線を感じた。振り返ること
ができない。首筋に息がかかった。

自分の悲鳴で目が

覚めた。

「…夢か…。」

これほど安心したのは初めてだった。…………

「マジかよ！スゲー夢だな！」

智樹が馬鹿笑いした。

「おいおい、マジで死ぬかと思ったんだぜ。」俺は

少しムツとして言った。「はは。悪い。おっと、これから行かな
きゃいけないところがあるんだ。またな。」

そう言うと、智樹は電話を切った。

智樹とは中学からの仲だ。少しふざけ屋だが、根が
いいヤツだから、今でも大親友だ。…それにしても、本当にリアル
な夢だった。ふと思いき起こしてみる。……………暗い部屋、不快感、そ
して…………死臭。目の前に転がる手足のない人。

急に、智樹の言葉が頭に響く。
「…………行かなきゃならないところがある
んだ。」

背中に悪寒が走った。「まさか…まさかあの死体は…………。」
気がつくと、

俺は家の近くの鉄工所の前に来ていた。直感でわかった。「…
ここだ…………。」
込み上げてくる恐怖を押しつけて、
恐る恐る足を踏み入れた。

…………中は薄暗くて、以外に広かった。所々に昔使われてい
たと思われる機械が置いてあるのが、かろつじてわかった。
…
どの部屋だろう。声を殺して、音を立てないようにゆっくりと進む。
…智樹を捜さなくては…一番奥の部屋に入る。

…臭い…………。暗闇に目が慣れて、大分見
えるようになってきた。ふと目の前になにか置いてあった。…………
人の首だった。

「ひっ！」
思わず悲鳴をあげて飛びのく。よくあたりを見渡すと、その部
屋は、人の手や、足や、首がきちんと並べられていた。さっきから
臭かったのはこれのせいだったのだ。「なんなんだよここは…
…………。」

恐怖で泣きそうになってきた。と
その時、突然後頭部に衝撃が走る。目の前が真っ暗になる。……………

俺は、うつぶせに倒れていた。体の自由がきかない。
「…………！」

……手足がない……俺の手足が……。同時にとてつもない痛みが、体を駆け巡った。

「うつ……うああ……」

視界に誰かが入る。……智樹……なんで……。智樹は口

の端を歪めて不気味に笑った。……「やめられないのさ。」

人を見ると俺の手で解体してやりたくなっちまうんだ。今のお前の様にさ……。お前は今までで最高のコレクションだよ……。智樹

の不気味な笑い声の中で、俺の意識は徐々に薄れていった。あの時夢で見た死体は、智樹ではなく、この俺だったのだ……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9215a/>

マサユメ

2010年10月17日02時34分発行